

## 増幅される誹謗中傷

沖縄県環境影響評価審査会でのコメントの反響を確認しようとネットをみていたら、以下のサイトを発見しました。このサイトでは、わたしについて、  
「三番瀬問題で開発寄りの発言を繰り返していた」  
「環境省で企業のために仕事をしていた過去」  
「「良い市民」は、協力し、理解をする市民で、偏った市民の意見を聞く必要はない。議会  
で民に変わって代議員が決議し、専門家が正しいことを言っているのだから市民を関わら  
せることは、論理的でなく、時間も、手間も、膨大にかかるだけという彼の主張」  
という記述がありますが、すべて誹謗中傷です。

三番瀬円卓会議、再生会議でどのような発言を行ってきたのかは、すべて記録が千葉県  
のサイトにおいて公開されているので、原典にあたってほしいわけですが、かなりの分量  
になります。わたしが、円卓会議でどのような役割を果たしてきたかについては、たとえ  
ば、三上直之『地域環境の再生と円卓会議』（日本評論社、2009）p.168-188の、円卓会議  
市川WGの議論のレビューなどを見てください。自然保護団体と地権者の間に立って、よ  
り良いとりまとめができるように尽力してきたつもりです。

現在の三番瀬とくに、市川護岸沿いには、人為的に掘られた滞が存在し、昔の干潟の状  
態ではありません。わたしは、土砂投入を否定していませんが、その理由は、この滞の存  
在です。自然の反応をみながら徐々に砂を入れていき、人為的に掘られた滞が徐々になく  
なっていくという意味で、土砂投入をとらえています。海を陸にする「埋立」はもともと  
反対です。そのあたりを一部の自然保護団体には誤解されており、会議における私の膨大  
な発言のごく一部を用いて、私を誹謗中傷する記事をホームページにアップしている団体  
があります。そのホームページを読んで、私に誤った先入観を抱き、さらに誹謗中傷を増  
幅させる人がいることは大変悲しいことです。

「環境省で企業のために仕事をしていた過去」というのは、全く、どのような根拠でそ  
のような記述ができるのか、理解に苦しみます。役人は、すべて企業のために働いている  
ものだという思い込みでもあるのでしょうか。

わたしの「公共研究と市民参加」の記事を読んでいただいたようですが、どこをどうよ  
めば、わたしが市民参加が要らないという主張をしていると読めるのでしょうか。わたし  
は、市民参加の意義を再整理して、三番瀬円卓会議に即して市民参加の課題を整理してい  
ます。これは、市民参加を進める方向でさまざまな努力をしてきた成果としてとりまとめ  
たものであり、課題があるから市民参加は不要だなど書いているわけではないのです。  
市民参加に理解を示さない人々に向かってその意義を具体的に示すとともに、より市民参  
加が受け入れられるように市民参加にまつわる課題を整理しているのです。これらの課題  
を乗り越えるための努力をしていくことは当然です。たとえば、市民参加のファシリテーター

タが少ないという課題については、大学で、ファシリテータ入門という講義を新しく設けて実際にファシリテータができる学生を育てています。

若いのにずいぶん傲慢であるというのも、自分では違うと思いますが、この点は、そのように感じる人もいるかもしれませんね。直接会ったことのない人には、いわれたくないですが。これを書いた人が、「小林アツシ」なる人物なのか、彼は誰かが書いたものを貼り付けただけなのかわかりませんが、このような誹謗中傷の増幅はやめないと活動自体の品位に関わると思います。

2009年9月10日 倉阪秀史

追記 下記のサイトの記事は、「薔薇、または陽だまりの猫」というブログに掲載されているもので、このブログの管理者が、メール配信された「辺野古浜通信」の記事と「小林アツシ」氏のブログ記事を、まとめて自らのブログに貼り付けて作成したものであることが判明しました。「小林アツシ」氏は全く無関係でしたので、ここにお詫びいたします。

2009年9月17日 倉阪秀史

(以下、当該サイトにおける記述コピー)

## [県アセス審査会へ結集を & 法律の専門家について/辺野古浜通信](#)

[2009-09-02 07:47:15](#) | [沖縄](#)

■9/7(月)、県アセス審査会へ結集を

テント村からの呼びかけです。

9月7日(月) 13時30分の県アセス審議会の傍聴席いっぱいの人が集まることを希望しています！

辺野古への基地建設に向けた工程は、休むことなく、国、県によって続いています。

この選挙の結果を受けて…

本来なら、国も県も、この工程を一時中断し、その後、取りやめるための作業に入るべきでしょう。

このことを県に知らせ、国に決断を迫るためにも  
また、アセス審査会の皆さんが勇気ある答申を行うためにも

多くの方が9月7日、宜野湾に集まって欲しいのです！

友人知人、大勢を誘って月曜日集まってください。

場所はカルチャーリゾート フェストーネ 098-898-1212  
宜野湾市真志喜3丁目28-1(コンベンションセンター右斜め向かい)

議題: 普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価  
準備書について(法律の専門家からの意見聴取及び質疑応答)  
アセス審査会、法律専門家2名について、ご報告します。

■なお今回の「専門家」についての情報を頂きました。

- >> 1名は、沖縄弁護士会の推薦で、三宅先生が出ます。
- >> (県から、沖縄弁護士会に推薦依頼がありました)
- >>
- >> もう1名は、千葉大学の倉阪秀史教授です。
- >> 三番瀬の問題などで、開発寄りの発言を繰り返していた
- >> 人物のようであり、大変よろしくない人選です。

この千葉大学大学院人文社会科学科教授、倉阪秀史さんは、若いのにずいぶん傲慢な方のようにです。しかも、確信犯のにおいがします。

環境省で企業のために仕事をしていた過去などの詳細は判りませんが

「良い市民」は、協力し、理解をする市民で、偏った市民の意見を聞く必要はない。

議会で民に変わって代議員が決議し、専門家が正しいことを言っているのだから市民を関わらせることは、論理的でなく、時間も、手間も、膨大にかかるだけ

という彼の主張がよく判る文章が幾つかあったので  
分かりやすいものをリンクしておきます。

PDF 資料: 公共研究と市民参加(携帯では読めません)

<http://mitizane.ll.chiba-u.jp/metadb/up/ReCPAcoe/52kurasaka1.pdf>

リンク: 倉阪秀史・三番瀬円卓会議委員への疑問

<http://www005.upp.so-net.ne.jp/sanbanze/yosio07.html>

リンク: CiNii(リンク可能かどうかは不明)

<http://ci.nii.ac.jp/search?author=%E5%80%89%E9%98%AA+%E7%A7%80%E5%8F%B2>

ダメな場合は <http://ci.nii.ac.jp/>で「倉阪秀史」を検索

辺野古浜通信-----

\*\*\*\*\*

#### 関連

民主党の鳩山代表とオバマ大統領が電話で会談しました。

いまの段階の報道でわかった内容と、辺野古の問題についてのこれまでの民主党の発言などをまとめました。

<http://atsukoba.seesaa.net/>

<http://atsukoba.seesaa.net/article/127098923.html>

辺野古での基地建設をやめさせるためには、数多くの人達が基地建設に対して反対の意志を示して、民主党にアメリカと交渉させる必要があります。

小林アツシ